



○ めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

秋山っ子

○ 学校の教育目標 豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりと夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～
串間市立秋山小学校 学校だより NO. 4 令和4年7月21日発行

いよいよ夏休み、楽しい思い出を

第1学期が終了しました。今学期、秋山小学校の児童が大きな事故にあうことも、事件に巻き込まれることもなく、終わられるのは学校と家庭、地域がいっしょになって子どもたちを見守り、指導している成果だと思います。あらためて深く感謝を申し上げます。「ありがとうございます。」

明日から子どもたちが楽しみに待っていた夏休みが始まります。夏休みには、長い休みでしかないようなことにも取り組んでほしいと思っています。どんなことができるのかご家庭でも話し合っていたいただくとありがたいです。そして、何と言っても「安全」と「健康」には特に気を付けて、元気に生活してほしいと思います。学校では、夏休み中に注意することをたくさん指導しています。ご家庭でも「夏休みのしおり」を子どもたちと一緒に確認していただき、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

歯と口の健康週間

6月13日（月）～17日（金）は本校の歯と口の健康週間でした。週間中は、全学級において担任と養護教諭による歯磨き指導を行いました。2年生は、6歳臼歯のむし歯の予防について学習しました。3・4年生は、上顎前歯や第一大臼歯のむし歯の予防について学習しました。6年生は、第二大臼歯のむし歯の予防について学習しました。むし歯や歯肉炎などの病気にならないように子の学習を生かしてしっかり歯磨きをしてほしいです。



音読発表会

6月17日（金）の1校時に6年生が国語の物語文の音読を発表しました。発表会には、他の学年の児童と全職員が参加し、6年生の音読を聞きました。音読した物語の題名は「風切るつばさ」です。1人の児童が最初の場面を、もう1人の児童が最後の場面を音読しました。2人とも場面の様子や、登場人物の気持ちや様子をしっかりと読み取り、それらが分かるように音読することができました。音読後は、出席した児童、職員全員が感想を伝えました。6年生の音読は、下級生の手本となるすばらしい音読でした。これを手本にしてみっとうまく読めるようになってほしいです。



市木小との交流学習

6月22日（水）に市木小で交流学習を行いました。2校時と3校時の授業を同学年の児童と一緒に受けました。2校時は、2年生が体育、4年生が図工、6年生が音楽でした。2年生は、市木小の1・2年生とボールを使った遊びや転がしドッジボールをしました。ドリブルとする場面では、上手にドリブルをする様子が見られました。また、転がしドッジボールでは、上手に逃げ回り、内野の最後の一人まで残りました。4年生は、アートカードを使ってペアで自己紹介をしたり、ゲームをしたりしました。6年生は、一緒に歌を歌



ったり、ベートーベンの「運命」を鑑賞したりしていました。

3校時は、2年生が図工、4年生が道徳、6年生が体育でした。2年生は、手に液体粘土を付けて絵を描き、いい作品ができました。4年生は、3人とも積極的に手を挙げ、発表していました。6年生は水泳でした。市木小の水泳が得意な子どもたちと競争をしました。

最後は、児童玄関でお別れをしました。市木小の全校児童、そして先生方が全員集まってお見送りをしてくれました。市木小の子どもたちは元気で明るく優しい子どもたちですので、本校の子どもたちも楽しく交流することができました。

学校参観日

6月30日（木）は、今年度3回目、1学期最後の参観日でした。内容は、参観授業（非行防止教室）、学級懇談、水泳記録会でした。非行防止教室は、図書室で全学年と保護者を対象に行いました。日南警察署の方とスクールサポーターの方に来校いただき、インターネットの安全な使い方について教えていただきました。水泳記録会では、それぞれの目標記録（距離やタイム）にチャレンジしました。ほとんどの児童が目標記録をクリアすることができました。

宮崎県いのちの教育週間

7月1日（金）～7日（木）は、宮崎県いのちの教育週間でした。この週間に次のような取組を行いました。

- 「いのちや生きることについて」の詩や名言等の紹介
- 人名名尊重を題材とした道徳の授業の実施（全学年）
- 人権教育に関わる学級活動の実施

※ 6年生は、市医療介護課の保健師さんを講師に迎えてSOSの出し方の授業を実施しました。

- 担任と養護教諭のチームティーチングによる性教育の授業の実施（2年、3・4年）

この週間の取組が「いのちや生きること」について深く考えるそんなきっかけになればと思います。

南九州大学生との交流

7月11日（月）に南九州大学の2年生2人を秋山小に招いて、交流を行いました。

3校時は、学生さんたちに串間市独自の取組である「くしま学」を知ってもらうために、「くしま学」で学習したことの発表と、「くしま学カルタ」の紹介をしました。

4校時は、学生さんの発表を聞いて質問をしたり、感想を言ったりしました。大学で学んでいることや自分が目指す教師像について教えていただきました。最後には、学生さんから子どもたちへ今がんばってほしいことについての話もありました。その後は、給食を一緒に摂り、昼休みにはトランプ遊びなどをして楽しく交流しました。

小学校教師という夢に向かってがんばっている2人の学生さんとの交流を通して、子どもたちは大いに刺激を受けたようです。今回の交流が自分の夢について具体的に考えるきっかけになればと思っています。この交流は、今度も継続して実施する予定ですので、次回が楽しみです。

